

公益財団法人ソニー音楽財団 設立30周年記念事業 第1弾

ニューヨーク・フィルハーモニック(指揮:アラン・ギルバート 他)が
10代を対象に¥1,500から観賞できる特別公演を実施

公演日:2014年2月11日(火・祝) 会場:東京 サントリーホール

音楽、オペラ・舞踏などの普及向上を図るため 1984 年に設立された Sony Music Foundation(公益財団法人ソニー音楽財団) (理事長:中鉢良治)が、2014年10月に30周年を迎えます。記念事業第1弾公演として、アラン・ギルバート指揮ニューヨーク・フィルハーモニック特別公演を発表。

10代の青少年を対象に用意されたプログラムと特別価格で、2014年2月11日(火・祝)に、サントリーホールで実施します。世界屈指のオーケストラの演奏を¥1,500から観賞できる、これまでにない魅力的な公演となっております。



Sony Music Foundation(公益財団法人ソニー音楽財団)30周年記念公演第1弾

10代のためのプレミアム・コンサート【1】

アラン・ギルバート&ニューヨーク・フィルハーモニック

日時:2014年2月11日(火・祝) 17:30開場 18:00開演

場所:東京 サントリーホール

出演:アラン・ギルバート(指揮*1・ナレーション*2) / ニューヨーク・フィルハーモニック(管弦楽)

小曾根真(ピアノ) / ジョシュア・ワイラースタイン(指揮*2)

主催:Sony Music Foundation 後援:アメリカ大使館 協賛:ソニー株式会社/ソニー生命保険株式会社 協力:KAJIMOTO

曲目:ブリテン:青少年のための管弦楽入門*2

バーンスタイン:「ウエストサイド・ストーリー」より『シンフォニック・ダンス』*1 ガーシュイン:ラプソディ・イン・ブルー*1 他

チケット情報:6月24日(月)一般発売

席指定・税込 [S席] 10代(小学校1年生~19才):3,000円 保護者:6,000円

[A席] 10代(小学校1年生~19才):1,500円 保護者:3,000円

※未就学児、大人のみ入場はできません。※10代券は公演日時時点で小学校1年生~19才の方が対象。公演当日、学生証・保険証など年齢確認できるものをお持ちください。
※10代券対象の1名につき、大人の同伴は4名までとさせていただきます。 チケットお申込み・お問い合わせ:Sony Music Foundation 03-3261-9933(平日10-18時)

■この公演について

この公演は30周年記念事業「10代のためのプレミアム・コンサート」シリーズの第1弾で「10代」チケットを設定。バーンスタインとの演奏で名高い「ヤング・ピープルス・コンサート」と同様に青少年を対象にしたプログラムで、10代は特別価格¥1,500から、保護者の大人は¥3,000からの観賞が可能です。2時間弱となる公演プログラムも、指揮者アラン・ギルバートが日本語でナレーションを担当し、ニューヨーク・フィル副指揮者就任以来「ヤング・ピープルス・コンサート」を指揮してきたジョシュア・ワイラースタインとのコンビネーションで演奏するブリテン作曲「青少年のための管弦楽入門」、バーンスタイン作曲『「ウエスト・サイド・ストーリー」より『シンフォニック・ダンス』』など、わかりやすくクラシック入門者でも聴きやすい内容の曲を世界最高峰のオーケストラの名演で観賞することができます。また日本が誇るピアニスト小曾根真が、彼の代名詞とも言えるガーシュインの名曲「ラプソディ・イン・ブルー」を演奏します。

■ アラン・ギルバートとニューヨーク・フィルハーモニックについて (詳細プロフィールは次頁にて)

・ニューヨーク・フィルは 1842 年創立、通算 15,000 回以上の公演記録をもち、世界的に最も古い歴史をもつオーケストラのひとつ。音楽監督にはバーンスタインやブルーゼ、メータ、マズア、マゼールと 20 世紀を代表する音楽家が就任しています。

・アラン・ギルバートは 2009 年よりニューヨーク・フィルの音楽監督に就任したニューヨーク出身の指揮者で、ボストン響、サンフランシスコ響、クリーヴランド管、バイエルン放送響など、アメリカをはじめ海外の主要なオーケストラと定期的に共演、以前シカゴ交響楽団と行った録音は、2008 年のグラミー賞「ベスト・オーケストラ・パフォーマンス賞」にもノミネートされた実力者です。

■ Sony Music Foundation(公益財団法人ソニー音楽財団)設立 30 周年記念事業について

・この公演を主催する Sony Music Foundation (公益財団法人ソニー音楽財団) (東京都千代田区：以下 Sony Music Foundation) は、音楽、オペラ、舞踊等の普及向上と国際交流の促進を図るため 1984 年に設立されました(設立時理事長：大賀典雄)。来年 2014 年に 30 周年を迎えるにあたり、その記念として企画した 3 つの事業のひとつ「10 代のためのプレミアム・コンサート」シリーズの第 1 弾公演となります。

Sony Music Foundation はこれまでに、次世代の聴衆を育てるプロジェクトとして、妊婦を対象にした「0 才まえのコンサート®~ママのおなかの特等席~」や未就学児を対象にした「Concert for KIDS~0 才からのクラシック®~」「Concert for KIDS~3 才からのクラシック®~」、小・中・高校生向け「子どもたちに贈るスペシャル・コンサート・シリーズ」等さまざまなコンサートを企画、制作。その他「日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート」や「東日本大震災復興支援プロジェクト~『第九』チャリティ・コンサート」、オーボエ単独としては世界最大の「国際オーボエコンクール・軽井沢」を開催しています。

Sony Music Foundation 30 周年記念事業では「10 代のためのプレミアム・コンサート」以外にも、クラシックの魅力をより深く掘り下げる「レクチャー & コン서트」や、普段聴く機会の少ないオーボエという楽器にスポットを当て、海外で活躍するアーティストを招いて行う「オーボエの祭典」等、今までにない独自企画を厳選されたアーティストによる演奏で提供する予定です。

「超一流の演奏を生で聴くことでしか得られない感動があります。それを感性豊かな子どもたちに聴いて欲しい。

これまでの 30 年を振り返り、その変わらぬ想いから企画しました。」(当財団常務理事：岡 路子)

<Sony Music Foundation 30周年記念事業のメッセージおよびコンセプト>

公益財団法人ソニー音楽財団 30周年記念事業

きく・みる・かんじる・つなぐ

~次の世代へ。良質な、新しい感動を~

<30周年記念の主な事業予定>

★ 超一流の演奏を気軽に楽しめる「10代のためのプレミアム・コンサート」。世界的に評価の高い演奏が、特別価格で。

- 1 元祖「ヤング・ピープルズ・コンサート」のオーケストラが日本再上陸！
「アラン・ギルバート&ニューヨーク・フィルハーモニック」(2014年2月11日)
- 2 ベルリン・フィルの精鋭4人が贈る、最上のホルン・アンサンブル「ベルリン・フィル・ホルン・カルテット」(2014年5月30日)
- 3 J.ケラス(Vc)とタバア(Va)を中心とする極上の弦楽四重奏団「アルカント・カルテット」(2014年10月5日)
- 4 国内外で絶大な人気を誇る木管アンサンブル集団によるスペシャル・コンサート(アーティスト、時期未定 順次公開)
- 5 世界的なピアニストのスペシャル・リサイタル(アーティスト、時期未定 順次公開) 他

★ ためになるお話と良質な演奏がコラボする「レクチャー & コン서트」(2014年7月)全4回予定

★ 一度は聴きたい、世界的に活躍するオーボエのスペシャリストが日本に集結する「オーボエの祭典」

他順次公開予定

※その他、通常実施している「0才まえのコンサート®~ママのおなかの特等席~」「Concert for KIDS~0才からのクラシック®~」「Concert for KIDS~3才からのクラシック®~」「日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート」、「東日本大震災復興支援プロジェクト~『第九』チャリティ・コンサート」は、これまで通りの実施を予定しています

■ 素材

- ・アラン・ギルバート&ニューヨーク・フィル公演中写真 (photo credit ©Chris_Lee)
- ・アラン・ギルバートアーティスト写真 (photo credit ©Hayley_Sparks)
- ・ニューヨーク・フィルハーモニックアーティスト写真 (photo credit ©Chris_Lee)
- ・小曾根真アーティスト写真 (photo credit ©Kiyotaka_Saito)
- ・Sony Music Foundation (公益財団法人ソニー音楽財団) ロゴ
- ・Sony Music Foundation (公益財団法人ソニー音楽財団) 30周年ロゴ
- ・Sony Music Foundation (公益財団法人ソニー音楽財団) 事業案内 冊子



©Chris_Lee

■アラン・ギルバート（指揮／ナレーション）：プロフィール

アラン・ギルバートは、ニューヨーク市に生まれニューヨーク市で育った。ハーバード大学、カーティス音楽院、ジュリアード音楽院に学ぶ。フィラデルフィア管弦楽団で2年間補欠ヴァイオリニストとして演奏し、1995年から1997年までクリーヴランド管弦楽団の副指揮者を務めた。彼のシカゴ交響楽団と録音したプロコフィエフのスキタイ組曲は、2008年のグラミー賞の『ベスト・オーケストラ・パフォーマンス』にノミネートされた。

2009/2010年シーズンからニューヨーク・フィルハーモニックの音楽監督に在任しており、ニューヨーク出身者が音楽監督に就任するのは彼が初めてである。

ギルバートは、就任したシーズン中に新しい企画の数々を導入し、それらにはコンポーザー・イン・レジデンス・マグナス・リンドバグ、アーティスト・イン・レジデンス・トマス・ハンブソン、年一度のスリー・ウィーク・フェスティバル、そしてニューヨーク・フィルのニューミュージック・シリーズ"CONTACT"などがある。

またニューヨーク・フィルの他海外の主要なオーケストラと定期的に共演しており、その中にはボルティモア響、ボストン響、シカゴ響、サンフランシスコ響、クリーヴランド管、ミュンヘンのバイエルン放送響、アムステルダム・ロイヤル・コンセルトヘボウ管、リヨン国立管などがある。2003年から3年間、サンタフェ・オペラの初代音楽監督を務めた。

ギルバートは Sony Music Foundation が創設、音楽芸術文化の発展に貢献したチェリスト・指揮者を顕彰する「齋藤秀雄メモリアル基金賞」2005年第4回の受賞者であり、また若い音楽家が日米欧で活躍するトッププレイヤーと演奏を学ぶフェスティバル「ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン」を指揮者大友直人（同賞2007年第7回受賞）とともに2001年より創立するなど、次世代を担う若手音楽家の育成にも積極的に取り組んでいる。



■ニューヨーク・フィルハーモニック（管弦楽）：プロフィール

1842年、指揮者ウレリ・コレリ・ヒルに率いられた地元の音楽家達によって創立された。アメリカで最も長い歴史をもち、世界的にも最も古いオーケストラのひとつである。現在、年間約180回の公演を行い、2010年5月5日には世界的にも類を見ない15000回目の記念すべき公演を行った。

音楽監督には、終身桂冠指揮者となったレナード・バーンスタイン、ピエール・ブーレーズ、ズービン・メータ、クルト・マズア（現在名誉音楽監督に就任）、ロリン・マゼールら、20世紀を代表する音楽家が就任、2009年9月からアラン・ギルバートがこの地位に就いた。ニューヨーク・フィルハーモニックは、アメリカの音楽界を長きに渡って牽引し、過去1世紀の間に世界的にも有名になり、5大陸の61カ国431都市で公演を行った。



■小曽根真（ピアノ）：プロフィール

1983年にバークリー音楽大学ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年カーネギーホールにてリサイタルを開き、米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」で全世界デビュー。2003年にグラミー賞にノミネート。近年はクラシックにも取り組み、国内外の主要オーケストラと、バーンスタイン、モーツァルト、ショスタコーヴィチ、ラフマニノフなどの協奏曲で共演を重ね、「比類のない演奏で、観客は魅了され大絶賛した」（北独ハノーファー新聞）など高い評価を得ている。

2010年、ショパン生誕200年を記念したアルバム「ロード・トゥ・ショパン」を発表し同名の全国ツアーを成功させ、ポーランド政府より「ショパン・パスポート」を授与される。FM番組のパーソナリティーを務めるほか、TV番組のサウンドトラックや舞台音楽を手がけるなど幅広く活躍。録音は多数あり、11年に東日本の復興を支援する『Live & Let Live - Love for Japan』を発表。12年には久々のジャズ・トリオを組み、国内ツアー及び『My Witch's Blue』をリリース。またエリス・マルサリスとのデュオ『Pure Pleasure for The Piano』も、チャリティ・アルバム第2弾として同時リリース。

国立音楽大学教授。

<http://makotoozone.com/>

